

前回の地域会議におけるご意見

令和8年7月31日
北信地域振興局林務課

1 前回の会議開催日 令和8年2月2日（月）

2 いただいたご意見

(1) 地域または全県の課題として検討を要する事項

- ①木質化事業は、県民の目につきやすい場所での活用が良い。また、木質化によって固定されるCO₂量を可視化すべき。

【北信地域振興局林務課】

- ・ R7年度は振興局で県産材による執務室木質化に取り組み、地球温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）を1.1t-CO₂固定することができ、今年4月28日に県産材CO₂固定認証制度（通称 ECOCO）による認証を受けた。
- ・ R8年度は、下高井農林高校農業実習室の内装木質化を予定している。
- ・ 室内木質化によるCO₂固定量をHPで公表するなど、CO₂固定量を含め今後も分かりやすい発信に努めていく。



- ②森林税で導入したクマ生体調査カメラがクマに破壊される事例があったため、機材再導入支援と来年度の予算措置をお願いしたい。

【北信地域振興局林務課】

- ・ 学校や市町村等が主体となる「学びと育ちの森づくり推進事業」で、センサーカメラやクマ鈴などの機材導入の支援が可能であるため、ご検討いただきたい。
- ・ また、森林税活用事業以外では、市町村が事業主体の場合、「野生鳥獣総合管理対策事業」の活用もできますので、あわせてご検討ください。

(2) 県民会議事務局へ見解を求められている事項

① 森林税の木質化事業を実施したものは、県全体で統一した PR を行うべき。

【県産材利用推進室】

- ・ 木造・木質化支援事業では、補助の要件に、補助事業者自身の HP 等で、森林税の活用や、整備の内容等の情報発信を行うことを規定し、積極的な情報発信をお願いしているところです。

また、支援内容や県産材等を扱う事業者の情報を下記の県ホームページにて掲載しているところですが、引き続き、ご意見の内容も含め、より効果の上がる情報発信の方法を検討してまいります。

○ 木造木質化支援内容

URL : <https://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/mokuzomokusitu.html>

○ 県産材、県産材製品を扱う事業者等のに関する情報

URL : https://www.pref.nagano.lg.jp/mokuzai/portal/nagano_wood_potential_home.html

② かつて需要があった苗木産業は、事業としてなりたちにくくなっている。今後は苗木需要が増加する可能性が高いが、森林税などによる支援が必要ではないか。

【森林づくり推進課 造林緑化係】

- ・ 主伐・再造林を推進する中で、苗木の確保は重要であるとともに、今後の需要も拡大するものと認識しています。苗木生産への支援は、現状ではコンテナ苗生産基盤施設等整備事業によるコンテナ苗の生産に必要な施設や資材等の支援や林業種苗生産対策事業により、需給調整や苗木の自主規格検査、後継者育成等の支援をしておりますが、苗木生産者の皆様の声を聞きながら、必要に応じた支援策を、検討してまいります。

3 その他のご意見

- ・ 市町村としても県と連携し、森林税でのツキノワグマ対策事業や税の使途について、県民や観光客に分かりやすく伝える啓発活動を進め、行政の役割を果たしたい。
- ・ 下高井農林高校への予算配分に感謝。新年度は税事業を活用して実習棟を県産材で木質化するとともに、生徒が木質化に携わることで県産材への理解を深めたい。